

今回は「緊急内視鏡の適応と実際」と題して特集を企画した。いずれも読み応えのある論文ばかりであり、本号を通読いただければ、消化管から膵・胆道疾患まで、現在行われている緊急内視鏡の全体像が俯瞰できる内容となっている。ご多忙のなか、執筆くださった先生方に、この場を借りて心より御礼申し上げます。

緊急内視鏡は発症から24時間以内に実施する内視鏡を指し、そこでは、知識と経験に基づいた冷静な判断と動物的な勘が試される。緊急内視鏡を通して、多くの内視鏡医が、自分の存在価値を認識し、やりがいを感じるとともに、一内視鏡医の限界、チーム医療の重要性、他医療者の有難みを感じるのでないだろうか。医師の負担軽減が声高に叫ばれ、働き方改革関連法案が国会で議論されているが、緊急内視鏡を必要とする患者は待ってくれない現実があり、消化器内科には消化器内科に適した働き方改革が求められよう。

2013年1月、私がワーキンググループ(WG)長を拝命し発足した内保連・外保連合同の「内視鏡における適正な診療報酬に関するWG」は、関係各位の協力を得て2016年11月に『内視鏡試案』(第1版)の発行とともに解散し、同合同「内視鏡委員会」(清水伸幸委員長)に継承された。内視鏡試案でも素案当初から休日・時間外・深夜加算の概念をうたっており、どこまで素案段階のものが参考にされたか知る由もないが、2014年度の診療報酬改定において創設された休日・時間外・深夜加算では、1,000点以上の処置・手術に加え、緊急内視鏡検査も本加算の対象とされ今日に至っている。内視鏡医の身勝手に終わらない働き方改革のためには、このようなインセンティブを高める活動も重要であろうが、もっとも重要なことは、Japan Endoscopy Database(JED)などを使った日本初の緊急内視鏡にまつわるエビデンスの構築と、緊急内視鏡の場でプレーイングマネージャーとして陣頭指揮を執る、次世代を担う有能な内視鏡専門医の育成ではないかと思っている。本特集の編集を通して、私も微力ながらその一翼を担いたいとの思いを新たにさせていただいた。

(藤城 光弘)

臨牀 消化器内科® Vol. 33 No. 5

©2018年4月20日発行

定価(本体2,750円+税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2018. Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-12-8 電話 03-5226-2791